



旭山120種の野鳥

旭山記念公園と旭山都市環境林で記録された野鳥は、2024年5月15日にチュウヒが観察されたことで120種となりました。今回はこのお話です。なお、紙幅の関係で全リストは割愛させていただきますが、旭山記念公園ホームページの「自然情報」をクリックするとリストのリンク表示されますので（「分類別」「五十音順」の2種類）、そちらをご参照ください。



- 上空通過も含む：リストには、上空通過で種が同定できたものも含まれており、最新のチュウヒ（左写真左）もその例で、オオハクチョウ、オオワシ、ミサゴ（左写真右）など10種がこれに該当します。
- 2亜種以上が記録されているのは「カワラヒワ」「オオカワラ

ヒワ」と「ウソ」「アカウソ」「ベニバラウソ」ですが、いずれも記録上は1種として数えています。ハチジョウツグミはツグミとは別種として数えています。

- 道内で見られる森林性野鳥のほとんどが記録されており、野鳥観察の入口にはいい場所です。
- 一方で大きな水辺がなく流れる川も細いので水鳥や水辺の鳥は少なく、道内河川で普通に見られるカワセミ、カワガラス、イソシギなどは記録がありません。
- 旭山記念公園はかつてはげ山で、開地にすむコウライキジもいましたが、植樹が成長し森になったことで住環境が変わり、コウライキジは見られなくなりました。
- カッコウは開地だった頃には普通にいましたが、今はたまに来て鳴くだけです。ただしカッコウについては昔は北大構内にも普通にいたそうで、旭山だけの環境変化の問題でもなさそうです。

なお、今は見られなくなったもう1種ゴイサギについては裏面「旭山野鳥メモ」をご覧ください。

- 今まででいちばんレアな種はサンショウクイ、オジロビタキあたりでしょうか。
- 今後新たに記録される可能性がある種

- ・コヨシキリ＝移動の時期に円山南麓で見られたことがあります
 - ・ナキイスカ＝イスカの群れに混じっていることがあります
 - ・ホシガラス（右写真）＝稀に低地に現れ、円山公園で記録があります
 - ・ホトトギス＝道南で夏鳥ですがより北での観察例が増えています
 - ・カモメ＝移動時期に内陸で群れが見られることがあります
 - ・コノハズク、オオコノハズク、トラフズクのフクロウ科の野鳥
- ほかにもあっと驚く迷鳥が見られるかもしれません。なんといっても鳥は飛べますから！



レストハウス「ぽるく」2024年9月

皆様いかがお過ごしでしょうか？旭山記念公園レストハウス【ぽるく】です。少しずつ暑さも和らいできた様ですが、まだまだ暑いですね！
ただいまショップではみのり彩園の自然栽培で育った野菜を販売しております。

特にトマトが甘くて絶品です！是非一度ご賞味ください。
そしてお買い物の後は冷たいソフトクリームでからだを潤して残り少ない夏を乗り切りましょう～

みのり彩園についてはコチラ→



旭山野鳥メモ 63 ゴイサギ

ゴイサギ Black-crowned Night Heron *Nycticorax nycticorax* ペリカン目サギ科

北海道では局所的分布の夏鳥。本州以南で留鳥、水辺に普通。

『平家物語』の中で、醍醐天皇から職務の褒美として五位の地位が授けられたという逸話が名前の由来。夜行性で英名はそれが由来。

カラス大。長くて白い冠羽がある。体上面は暗青灰色、下面灰色。

ゴイサギは旭山で記録された120種に入っている。15、6年前まで円山西町の民家の軒先にある数本のアカマツで数つがい繁殖しており、旭山記念公園でも主に夜に上空を飛ぶ姿が時々見られていた。

しかし、夜に「グエーッ」と鳴く声が気持ち悪がられたのか、ある年、繁殖していたアカマツが伐採され、以降ゴイサギは寄り付かなくなり、旭山でも見られなくなった。今後もほぼ見られないだろう。

柳の葉を水面に落として「疑似餌」とし、寄って来た魚を捕食する。

幼鳥は全身茶褐色の中に白い斑点があり、まるで別の種のように見え、「ホシゴイ」とも呼ばれる（右写真下）。

本州以南ではありふれた野鳥だったゴイサギ。しかしここ数年、特に西日本で数が減ってきており、狩猟鳥の対象から外された。昔からありふれた鳥が減少するのは全国どこであっても気がかりだ。



2024年9月の野鳥トピックス

- シマエナガ：8月は毎日見られる時期もありました
- キビタキ：今年は幼鳥がよく見られています（今月いっぱい）
- コサメビタキ：8月以降も観察情報は比較的多いです
- オオルリ：8月は幼鳥の観察情報がちらほらとありました（右写真）
- アオジ：夏にはいなかったのが8月以降しばしば見られています
- ウグイス：笹藪で「ヂッ デッ」と鳴き時々姿も見られます
- クマゲラ：園内に時々やって来ています
- チゴハヤブサ：今年も近くで繁殖したようで8月中旬から旭山でも時々観察されるようになりました。なぜそれまでほぼまったく見られなかったのかは不明です



旭山生き物ミニ図鑑2024年7月



秋の風物詩胡桃をくわえたエゾリス



ツツドリ幼鳥



ウグイス幼鳥



ミンミンゼミ来年以降定着か？



ピピピピ鳴く虫カンタン



ツリフネソウ旭山ではややレア



ナナカマド果実色づき途中



ヌスビトハギ果実（ひつつき）



公式サイト

「アカゲラ通信」 第131号 2024（令和6）年9月6日発行

（公財）札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/>

〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311（金・土・日・祝日 10時～16時）FAX 011-200-0351